

## 市民への情報提供や啓発のあり方について 本日の論点

今回は、市民啓発の全体像について、対象ごとの啓発のねらいや内容、方法はどうか議論を行いました。また、市民啓発媒体 知ってみよう ver、書いてみよう ver について、内容や活用方法はどうかについて、御議論いただきました。

今日は、前回の議論を踏まえ、以下の2点について御議論いただきたいと思っております。

### 論点 (1) 市や各医療介護関係者それぞれが、どのような市民啓発の取組を行うべきか。

- ・ 資料 1-2 ACPに関する市民啓発の全体像（案）に記載されている取組のイメージについて、各医療介護関係者の実施の実現可能性は
- ・ 実施が難しい場合の理由は（ノウハウ、予算、時間、マンパワー、職場理解等？）
- ・ 実施に向けて必要なことは（プロジェクトチームの立ち上げ、関係団体との合同実施の検討、大学や行政・企業からの支援等？）

#### 「ACPに関する市民啓発の全体像」の今後の活用イメージ

「啓発の全体像」を表にまとめ、医療介護関係者へ配布し、それをもとに、各機関や職能団体等による市民啓発を推進いただく。

※資料 1-2 をブラッシュアップ

- ・ どのような対象に（だれに）、どの実施主体が（だれが）、どのような方法で（いつ、どこで、どのように）、市民啓発を行うか
- ・ 実現に向けたヒントや例などを記載

## 論点（2）市民啓発媒体「知ってみよう ver（案）」の内容や活用方法はどうあるべきか

### 【変更のポイント】

- ネガティブな表現（危機感をあおるような事例や言葉など）はできるだけ控えた
- 「人生会議とは何か」を端的に伝えることに焦点を絞った  
（なぜ人生会議が重要かを伝える事例やうまくいった事例などは削除）
- 人生会議のポイントを掲載

### 市民啓発媒体「知ってみよう ver」の今後の活用のイメージ

本日の意見を踏まえ「知ってみよう ver」を概ね完成させ、来年度、市で印刷し、関係機関に一定枚数配付する予定。

各機関で、相談窓口等への設置や市民啓発の企画時等に活用。

また、このリーフレットの原版の提供を可能とし、各医療介護関係者にて印刷・配布もできるようにする。（内容の変更は不可）